重要文化財菅野家住宅主屋ほか２棟耐震診断業務委託仕様書

１．履行場所・施設概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 名　称 | 構造形式及び寸法 | 所在地 | 指定年月日 | 備考 |
| 重要文化財（建造物）  菅野家住宅  主屋  離れ座敷及び台所  一番蔵及び四番蔵 | 主屋  ：土蔵造及び煉瓦造、二階建  建築面積274.66m2、桟瓦葺  　背面西方浴室及び便所付属  離れ座敷及び台所  ：土蔵造及び木造、桟瓦葺  　建築面積100.97m2  一番蔵及び四番蔵  ：土蔵造、二階建、桟瓦葺  　建築面積119.76m2 | 富山県高岡市  木舟町36番1号  同上  同上 | ,  平成6年12月27日  令和6年8月15日  平成6年12月27日  一番蔵  ：当時土蔵として指定  令和6年8月15日  ：四番蔵追加指定 |  |

２．履行期限　　契約締結日～令和 ８ 年 １０ 月 末　日

３．業務の概要

重要文化財菅野家住宅・土蔵耐震診断及び保存修理調査業務委託（以下「主たる業務」）を実施

するにあたりの各種調査・耐震診断・地盤調査を行い、補強計画案等総合所見を行うもの。

２．業務の内容

１）各種調査

ア．調査対象

菅野家住宅　主屋　　　　　　　土蔵造及び煉瓦造、二階建、建築面積274.66m2、桟瓦葺

　　　　　　　　　　　　　　　　　　背面西方浴室及び便所付属

離れ座敷及び台所　土蔵造及び木造、桟瓦葺、建築面積100.97m2

一番蔵及び四番蔵　土蔵造、二階建、桟瓦葺、建築面積119.76m2

イ．現地調査

①実測調査　建物の平面図・立面図・断面図の基本図と、基礎・柱・床組・小屋組・母屋・垂

木・屋根等の各種伏図、及び軸組図等の作成に必要な建物の寸法を実測する。

②各種調査　各建物の基礎・軸部構造・床組・小屋組・屋根・壁・造作等の、材質・材寸・継

ぎ手・仕口等の仕様を調査する。また、後世の改変により変更されている構造や

間仕切の痕跡等があればこれを撮影する。

③写真撮影　各建物の基礎・軸部構造・床組・小屋組・屋根・壁・造作等の図面作成に必要な

写真と各部の仕様等がわかる写真と、変更されている構造や間仕切の痕跡等があ

ればこれを撮影する。

ウ．資料作成

①図面作成　建物の平面図・立面図・断面図の基本図と、基礎・柱・床組・小屋組・母屋・垂

木・屋根等の各種伏せ図、及び軸組図等。

②各種調査　各建物の基礎・軸部構造・床組・小屋組・屋根・壁・造作等の、材質・材寸・継

　ぎ手・仕口等の仕様を可能な範囲でまとめる。

③写真編集　各建物の外観、室内を示す全景写真と、基礎・軸部構造・床組・小屋組・屋根・

壁・造作等の各部の仕様等がわかる写真を編集する。

　　④地盤調査　資料整理まとめ、挿図等作成、成果品。

２）耐震診断調査

ア．診断業務

①耐震診断は2次診断までとし、XY両方向とする。

②耐震診断の準拠基準は、文化庁文化財部「重要文化財（建造物）耐震診断指針」・「同耐

震診断・耐震補強の手引」による他、日本建築学会（財）日本建築防災協会、（財）日本

住宅・木材技術センター等の伝統的木造軸組構造に関する耐震診断と耐震補強の指針・解

説・方法等による。

イ．耐震診断報告書作成

①耐震診断総括表

②各部門別診断結果表

③計算過程と調査結果

④総合所見（判定、補強計画案及び補強費概算を合む）

３）地盤調査

1. ボーリング調査　66φ、20m、1本

・標準貫入試験、土質試験、室内試験、物理探査（PS検層）、解析資料整理、成果品等。

1. スウェーデン式サウンディング試験　10ポイント、ハンドボーリング1箇所

・資料整理、成果品等。

４）その他

ア．技術指導者及び監修者による技術指導・監修

業務の実施においては、委託者が指定する文化財建造物修理主任技術者相当及び木構造耐震

の専門的な知識を有する学識経験者等による指導・監修を受けること。具体的には、文化財

建造物修理主任技術者相当の監修者からは、耐震補強に合わせて必要となる修理等にかかる

提案および耐震補強案策定に対する文化財的価値保存の観点からの技術的指導・助言を受け

ること。また、木構造耐震の専門的な知識を有する学識経験者等の監修者からは、耐震診断

への技術指導・監修および診断結果・耐震補強案についての監修を受けることとする。

イ．打合せ記録

必要に応じて委託者、技術指導者及び監修者と打合わを行い、記録を作成すること。また

技術指導者及び監修者から指導・助言等を受けた場合も記録をとること。

５．適用基準　　文化庁「重要文化財（建造物）耐震診断指針」

同　「重要文化財（建造物）基礎診断実施要領」

同　「重要文化財（建造物）耐震診断・耐震補強の手引（改訂版）」

６．成果物

１）調査報告書

上記5の業務として作成された資料・図面・写真・打合せ記録

提出部数　　印刷物　A4縦版（A3版折込）5部

CD-R （文書作成ソフト等による保存データ）2枚

２）図面原図　　提出部数　各１部（図面ケース入れ）

７．内訳書・内訳明細書　　別紙1・2のとおり

８．参考図面　　　　　　　別紙３のとおり

９．入札資格

これまでに重要文化財に指定されている伝統的木造建築の耐震診断及び耐震補強設計業務を

行った実績がある者。

10．一般事項

　１）文化財建造物の耐震診断及び保存修理調査業務であることを十分に認識し、本業務の実施に

おいては文化財の価値及び周囲の環境を損じることがないよう、万全に期すること。

２）本業務にあたっては、契約後速やかに工程表を委託者に提出し、承認を得ること。

３）関係諸官庁に対する手続き及び協議に際し主たる委託者に対する指導助言業務を行うこと。

４）仕様書に記載のない事項については、委託者と協議の上、指示承認を得て実施すること。

５）本業務が完了した後、速やかに業務完了報告書を委託者に提出し、全体業務の完了検査を受

けること。この検査の合格及び提出書類の完納をもって検収とする。

６）受託者は、本契約の実施により知り得た情報を第三者に漏洩してはならない。

７）本仕様書に記載のない事項あるいは記載事項の解釈について疑義が生じた場合は、委託者と

　受託者で協議を行い、受託者として誠意をもって対処する方向で解決するものとする。